

令和6年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

可児市青少年育成市民会議

可児市青少年育成市民会議は青少年健全育成基本方針において、青少年を育む地域活動の活性化と社会参加の促進、あたたかさとしげしさをもち家庭づくり・地域づくり、困難を抱える青少年への支援と社会環境の整備を三つの基本目標とし、活動を行っています。

1 青少年育成推進員研修会

令和6年5月25日（土）に、可児市福祉センターにおいて、青少年育成推進員研修会を開催しました。全体会では講師をお招きし、青少年健全育成活動の意義と推進員の役割についての講演を行いました。分科会では4つの専門部会がそれぞれの活動について、熱心に協議を行いました。また、当日は青少年育成功労者の表彰も併せて実施しました。



2 少年の主張可児市大会

令和6年6月15日（土）に、可児市文化創造センター主劇場において、少年の主張可児市大会を開催しました。市内の中学校6校から選出された12名の代表者が、日常生活の中で感じている思いや考えを、自分自身の言葉で真摯に力強く主張しました。

審査の結果、「踏み出す勇気」という題名で発表した帝京大学可児中学校3年 豊田 雅さんが最優秀賞を受賞しました。



アトラクションでは、東可児中学校吹奏楽部の皆さんの演奏と文化部の皆さんの箏の演奏で、会場が大いに盛り上がりました。中学生ボランティアの皆さんも運営に携わってくださり、その活躍する姿に来場者から高評価をいただきました。また、当日は善行少年の表彰も併せて実施しました。

3 可児市青少年育成シンポジウム

令和6年11月23日（土）に、可児市文化創造センター主劇場において、可児市青少年育成シンポジウムを開催しました。講師にNPO法人陽和理事長渋谷幸靖氏を迎え、「子どもとのかかわり方」という演題でお話いただきました。先生からは、「困難を抱えた子どもたちは犯罪において加害者となるが、逆境体験の中で生活していた子どもが多く、彼らも被害者である。」「子どもたちの課題として、認知能力の弱さが社会問題になっている。サイトの投稿に騙され被害者になってしまう。そのような子どもたちには福祉の支援が必要になるケースも多い。」「困難を抱えた子どもたちはいつかその穴から抜けだしたいと思っている。抜け出す方法もわからない子どもたちに大人は手を差しのべ一緒に抜け出す方法を考えることで支援につながる機会になる。」といったアドバイスをいただきました。

また、当日は「わが家の宝物」作文・標語優秀作品表彰・優秀作文発表、「家庭の日」啓発図画・ポスター県入選者表彰も併せて実施しました。



4 街頭啓発

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」では7月7日（日）に、「秋のこどもまんなか月間」では11月3日（日）に市内大型店舗や、地区センターまつり会場においてMSリーダーズの協力もいただき、啓発グッズの配布など青少年の健全育成の街頭啓発を実施しました。



このほか、「家庭のぬくもり」作品展を、令和7年1月10日（金）から1月22日（水）まで、広見地区センターにおいて開催しました。展示されたのは、「家庭の日」啓発図画・ポスターの作品60点、「わが家の宝物」作文・標語の入選作品58点です。いずれの作品からも、それぞれの家庭の心温まる家族のふれあいが伝わってきました。